

MSG1/2 との比較、特徴(ATA = Air Transport Association (米)航空輸送協会の MSG3 DEVELOPMENT ドキュメントから作成)

	MSG1/2	MSG3
解析対象	システム 構造	システム 構造 ゾーン
解析の具体化	プライマリー メンテナンス プロセス (手法) * 1	データ分析とメンテナンス タスク化* 2
アプローチの仕方	ボトムアップ UNIT→COMPONENT→SYSTEM→AIRPLANE	トップダウン AIRPLANE → SYSTEM → COMPONENT → UNIT
解析管理レベル	LOWEST MANAGEABLE LEVEL	HIGHEST MANAGEABLE LEVEL
特徴	多数部品レベルコントロール (管理多岐、機体不具合関連性捉え難)	整備手法に対し、TASK 付与 整備効率化、コストの低減

\* 1

MSG1/2		システムにおける、比率
プライマリー メンテナンス プロセス (手法)	ハードタイム手法	5 ~ 10 %
		5 ~ 10 %
	オン・コンディション手法	10 ~ 20 %
	コンディション・モニタリング手法	60 ~ 80 %

\* 2

MSG3		システムにおける比率
メンテナンス タスク化	給油/サービシング	5 ~ 10 %
	修復	5 ~ 10 %
	廃棄	
	検査/機能	10 ~ 20 %
データ分析		60 ~ 80 %

